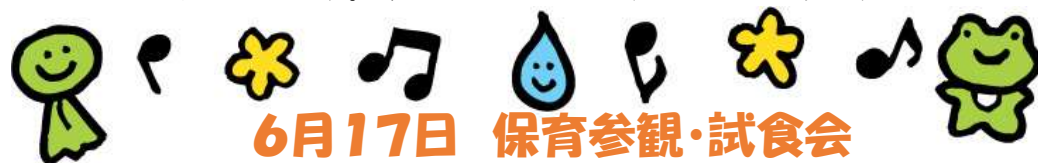




平成29年6月23日発行 洗足池保育園

散歩に出ると、紫陽花やカタツムリ等、梅雨を感じられるものに沢山出会う季節。子ども達はその一つひとつに興味を持ち、観察したり触ってみたいして楽しんでいます。また、晴れた日は園庭に出て、汗びっしょりになりながら走り回っています。今からプール遊びが待ち遠しいようです！



当日は、お忙しい中、ご参加頂き、ありがとうございました。

各クラスの活動では、子ども達の保育園での生活を知ってもらえたのではないのでしょうか。また、試食会では、皆様から「美味しい」と言った声をたくさん頂き、大変嬉しく思います。

あおば組では、家族の方と一緒に動物や乗り物になる組体操を行い、子ども達の楽しそうな様子が見られました。また、成功すると喜ぶ姿も見られ、嬉しく思いました。

わかば組では、『わなげ製作』を行いました。

いつもと違う雰囲気緊張する姿も見られましたが、友達や家族の方と一緒に作ったり遊んだりする中で自然と笑顔になる姿も見られましたね。



梅雨の時期になりましたが、毎日元気いっぱいのわかば組。晴れの日には園庭に出て、皆で育てている野菜(トマト・トウモロコシ)の水やりをします。水をやりながら「大きくなったよ」と、生長を楽しみにする姿が見られます。5月頃、トウモロコシの茎が子ども達と同じくらいの背になると、「トウモロコシと一緒に！」と嬉しそうに喜び、毎日トウモロコシとの背比べを楽しんでいました。そして先日、自分達よりも大きく生長したトウモロコシを見て、「先生！すごい大きくなってよ！」と、とても驚いていた表情をしながら嬉しそうに教えてくれました。またある日、トマトに水やりをしていた子が小さなトマトの実を見つけると、大興奮！！「トマトの赤ちゃん見つけたー！」と言う声を聞き、「どこどこ？」「ほんとだ！ちっちゃい」と皆で集まってトマト観察が始まりました。「赤くなったら食べれるんだよ」「もっと大きくなるんだねー！」と、今後の生長を楽しみにしていましたよ。

4月に種まきをした頃はあまり興味がなかった子も、毎日水やりをしているうちに、葉っぱの感触や見た目の変化に興味を持つようになりました。これからも、子ども達が楽しみにしている収穫を目指して、皆で野菜の世話をしていきたいと思えます。



5月に種まきをした“ミニトマト”と“サヤエンドウ”がとても大きくなってきました。園庭に出ると熱心に水やりをする子ども達。大きくなった苗を見て、「花が咲いてる！」「小さいサヤエンドウが出来てるよ」と嬉しそうに知らせてくれ、「もうすぐかな？」と、野菜の収穫を楽しみにしています！

さて、5歳児は先日、千束保育園・雪谷保育園・にじいろ保育園大岡山との交流会がありました。4園混合で4つのチームを作り、『ボール送り』や『もうじゅうがりに行こうよ』を楽しむ子ども達。始めは緊張し、自分から話しかける事が少なかったのですが、ゲームを通して、同じチームの子と喜び合ったり、話をしたりする姿が見られました。



その日、4歳児はわかば組と桜広場に行きました。普段は5歳児にリードしてもらう事が多い4歳児ですが、一緒に探検をしたり、草花や虫を見つけると、「いい匂い」「何て言う虫だろう？」と話したりし、積極的に関わる姿が見られました。また、木登りでは、登り方を教えたり、登れない子には、「大丈夫？」と優しく上から手を差し伸べたりする姿も見られました。

→裏面もご覧ください。



テーマへの取り組み



<わかば組>

わかば組では、6～7月は『からだの骨』について学んでいきます。『骨』の絵本を見ていると、「コウモリの手の骨は細い!」「人間の骨ってたくさんあるんだね」と驚く子ども達。そして実際に、紙粘土で作ってみると、「手の指の骨は3つある!」と絵本で見た事を思い出し、丸めたり伸ばしたりしながら取り組んでいました。



<あおば組>

あおば組では、6～7月は『聴覚』について学んでいきます。今月は、にじいろ保育園大岡山で行われた、マリンバ演奏会に行き、楽器の音を聴いたり、聞こえてきた音のイメージを色や形にして表現したりする等、様々な音に触れてきました。

そして楽器製作では、色々な廃材を組み合わせ、音を作っていく子ども達。「この音、マリンバ演奏会で聴いた!」「輪ゴムを弾くと、ギターの音がする!」等、今まで聞いてきた音やまた新たに聞いた音に興味津々の様子でした。



7月・8月の歌

☆たなばたさま

☆きらきらぼし

☆うみ

☆キャンプだホイ